

千葉経済大学短期大学部 一般選抜入試

出題の傾向と対策「外国語(英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ)」

1. 概要

本学の一般選抜入試の「外国語(英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ)」は、文部科学省による「高等学校学習指導要領 英語編」をふまえ、主として「基本的な読解能力」、「基礎的な語法に関する知識」、「簡単な英作文の能力」などの面について、受験生の知識・技能を確認することを目的としています。

例年、問題は「読解」、「語法」、「作文」の3つの部分から構成されています。

2. 出題傾向とその意図

(1) 読解に関する問題

毎年、比較的平易な英文を取り上げ、内容の理解、個々の語法や構文など、さまざまな角度から読解に必要と思われる知識を問うことができるように出題されます。英文の難度は英検準2級レベルを超えることはありません。

設問の形式は、記号により解答するものと記述式の両方があります。内容把握に関する問題は、全体の要旨に関する設問と本文中の個々の情報を問う設問の両方が出題されます。

(2) 語法に関する問題

基本動詞や前置詞の用法、関係詞、仮定法、否定や倒置など、語法の全般にわたって出題されます。問題の形式は客観式で、記号による解答を求められます。

(3) 作文に関する問題

日本語の意味に合うように、与えられた英語の語句を並べかえて英文を完成させます。毎年5問出題されます。

3. 対策

英語は基礎的な語句を丹念に学習しなくてはなりません。まずは高校時代の教科書を復習してください。繰り返し音読し、日本語に訳さなくてもそのまま理解できるまで慣れてください。音読を続けることにより、英語を英語のままで理解する回路が頭の中に形成されてきます。

辞書の使い方には二通りあります。一つは知らない単語や語句の意味を調べる場合です。もう一つの使い方はテキストを離れ、基礎的な語句の用例に目を通すことです。辞書の用例も音読しましょう。特に基本的な動詞と前置詞は英語の理解に欠かせません。その他はあまり厚くない総合英語の参考書を使用し、疑問が生じるたびにこまめに参照するとよいでしょう。「急がば回れ」ということわざを思い出してがんばりましょう。